

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成30年7月19日(2018.7.19)

【公表番号】特表2017-517578(P2017-517578A)

【公表日】平成29年6月29日(2017.6.29)

【年通号数】公開・登録公報2017-024

【出願番号】特願2017-517210(P2017-517210)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/35	(2006.01)
A 6 1 K	39/02	(2006.01)
A 6 1 K	45/06	(2006.01)
A 6 1 K	33/08	(2006.01)
A 6 1 K	31/198	(2006.01)
A 6 1 K	31/366	(2006.01)
A 6 1 K	31/192	(2006.01)
A 6 1 K	31/7076	(2006.01)
A 6 1 P	35/04	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 K	38/02	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	33/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 K	39/35	
A 6 1 K	39/02	
A 6 1 K	45/06	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 K	33/08	
A 6 1 K	31/198	
A 6 1 K	31/366	
A 6 1 K	31/192	
A 6 1 K	31/7076	

A 6 1 P 35/04
A 6 1 P 35/02
A 6 1 K 38/02
A 6 1 P 37/04
A 6 1 P 31/12
A 6 1 P 33/00

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月11日(2018.6.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アンタゴニストである抗VISTA抗体またはVISTAポリペプチドを含むVIST

Aアンタゴニストの有効量の、以下のいずれかに使用するための医薬の製造における使用

:

(i) 必要とする対象における、VISTAが媒介する液性免疫阻害の阻害または無効化；

(ii) 必要とする対象における、限定はされないが、抗原特異的な抗体応答を含む、B細胞増殖またはB細胞応答の増加；

(iii) 必要とする対象における、抗原または治療抗体に対して誘発される液性免疫応答の促進；あるいは

(iv) 治療ワクチンまたは予防ワクチンによって誘発される液性免疫応答の促進。

【請求項2】

前記対象が、癌、感染性疾患状態、またはB細胞免疫が抑制される他の状態を有する、請求項1に記載の使用。

【請求項3】

腫瘍抗原、自己抗原、アレルゲン、または感染病原体の抗原から選択される抗原の使用をさらに含む、請求項1に記載の使用。

【請求項4】

iNOS/NO阻害物質の使用をさらに含む、請求項1、2、または3に記載の使用。

【請求項5】

前記iNOS/NO促進物質が、一酸化窒素もしくは一酸化窒素の合成を阻害する化合物、アルギニン誘導体、NG-ニトロ-L-アルギニンメチルエステル、NG-エチル-L-アルギニン、N-イミノエチル-L-アルギニン、L-NG-メチルアルギニン、NG-ニトロ-L-アルギニン、NG-ニトロ-L-アルギニンメチルエステル、ロバスタン、フェニル酢酸のナトリウム塩(NaPA)、FPT阻害物質II、N-アセチルシステイン(NAC)、cAMP、L-NMA、またはLN MMAから選択される、請求項4に記載の使用。

【請求項6】

前記対象が：(i)ウイルス、細菌、または寄生虫によって引き起こされる感染性疾患有するか；(ii)進行癌、転移性癌、及び/または固形腫瘍を有するか；あるいは(iii)肉腫、黒色腫、卵巣癌、肺癌、リンパ腫、白血病、または骨髄性の癌を有する、請求項1、2、または3に記載の使用。

【請求項7】

アゴニストである抗ヒトVISTA抗体、抗ヒトVISTA抗体断片、VISTA-Ig結合体、またはVISTAの多量体形態から選択されるVISTAアゴニストの有効量

の、以下に使用するための医薬の製造における使用：

(i) 必要とする対象における、VISTAが媒介する液性免疫阻害の促進または増加；あるいは

(i i) 必要とする対象における、限定はされないが、抗原特異的な抗体応答を含む、B細胞増殖またはB細胞応答の抑制。

【請求項8】

B細胞応答または抗体応答が疾患病理に関与する、自己免疫性状態、アレルギー性状態、炎症性状態、または感染性状態を有する対象の治療のために使用される、請求項7に記載の使用。

【請求項9】

前記抗原が、腫瘍抗原、自己抗原、アレルゲン、または感染病原体の抗原である、請求項7に記載の使用。

【請求項10】

前記VISTA-Igが、任意選択で、補体との結合、FcRとの結合、ADCC、糖鎖修飾、または半減期を含めた少なくとも1つのエフェクター機能の減弱または増加のために改変され得る、IgG1、IgG2、IgG3、またはIgG4のFc領域またはその断片を含む、請求項7に記載の使用。

【請求項11】

PD-1アンタゴニストまたはPD-L1アンタゴニストの使用をさらに含む、請求項1に記載の使用、あるいはPD-1アゴニストまたはPD-L1アゴニストの使用をさらに含む、請求項7に記載の使用。